

公述の内容

公述人 1	
公述の内容	<p>○桜井町から和戸町までの盛り土方式では、町が二分され、環境や景観の破壊はもとより、人々の絆が失われ地域発展の阻害となる。また、子供の通学路が一層死角が増え危険である。このため、高架方式で完成を図っていただきたい。</p> <p>○東部区間の全区間に側道を設けて、不便な環境を無くし、時間的にも浪費しない効率的な道路を造っていただきたい。</p> <p>○高架方式、全区間側道の要望が履行されない場合には住民総意により計画に反対する決意です。</p> <p>○要望どおり履行された場合には、地権者の今後の生活設計や渋滞解消のため、工事の早期促進と、地権者の方々の意見要望等の工事への反映をお願いしたい。</p>

## 公述の内容

公述人 2	
公述の内容	<p>○環状道路を造って少しでも早く車を走らせようとする考えに反対です。時間短縮を目指しているかもしれないが、環境面、財政面、とくにこの震災と原発事故のときにこういう道路を造ることが信じられない。</p> <p>○仮にお金があったら命を守る防災や医療、そういう方面に使ってもらいたいし、東北地方へもまわしてもらいたい。</p> <p>○農業面での盛り土の影響により日照問題や、防犯、防災面でも心配なので、道路計画に反対します。</p>

## 公述の内容

公述人 3	
公述の内容	<p>○交通量が徐々に頭打ち、減少の傾向に入っている、高齢者中心の人口減少社会において道路を造ることは逆向きの政策であり、時代や社会の変化がすでに道路を必要とする時代ではない。</p> <p>○建設費が751億円かかると聞いているが、この税金は医療や福祉、防災といった命に関わることに使うべき。</p> <p>○山梨県は1兆円近い借金を抱えているなかで、こういう道路を造ることは次の世代に借金や環境公害といった付けを回していくことに他ならない。</p> <p>○若い人たちに道路と借金だけを残すようなことはやめて、知恵を使って道路以外で住みやすい生活の仕組みをつくっていくべきである。</p>

## 公述の内容

公述人 4	
公述の内容	<p>○甲府盆地は景色が良いので、それを壊す新たな道路建設に反対します。</p> <p>○道路が視界を遮って町を分断して走ることに反対です。</p> <p>○今まではGNPの経済学（生産力を上げることが豊という大量生産大量消費の経済）を優先させてきたため、自然が破壊されてしまったが、今、行き詰まったといわれている。これからは知足経済学（限られた資源を大切に使い、足りていることを知る）という経済のあり方に変えていくことが求められている。これ以上道路はいらないと思う。</p> <p>○道路の新設ではなく、今ある道路の整備や人の絆の結び付きの観点からのまちづくりをしなければならないと思う。</p>

公述の内容

公述人 5	
公述の内容	<p>○和戸インター南側の盛土区間について事故や犯罪面を考えて高架として欲しい。</p> <p>○和戸インター北側の側道の接続先の道路は車がすれちがえる道路でないため検討して欲しい。</p> <p>○甲運小学校側の側道の接続先も道幅が狭いため渋滞がおきたり、通学路であるので危ないと思うので検討して欲しい。</p>

公述の内容

公述人 6	
公述の内容	<p>○具体的な計画は分からないが、残った農地の使用や日照など道路分以外での影響への不安が大きい。</p> <p>○できることなら、小曲町の優良農地を地産地消のためにも減らして欲しくありません。</p> <p>○どうしても通さなければならない場合でも、農地、農業への影響を最小限にしたい。</p>

公述の内容

公述人 7	
公述の内容	<p>○高齢化と少子化の世代を迎えるにあたって、これ以上新しい道路を造る必要はない。</p> <p>○今ある道路を整備していただけても多くのお金が必要ですから、たくさんの税金を使う新しい道は必要ない。</p> <p>○新しい道路をつくる必要はなく、もっとほかにやるべきことがあるのではないかと発意者の方々に聞きたい。</p> <p>○今まで起こりえなかった災害が度々起こっているなかで、東北、東日本の震災が起こった以前に企画された道路を造る必要は無い。</p>

公述の内容

公述人 8	
公述の内容	<p>○地権者会の代表として県なり国なりでどういう補償をしてくれるかがはっきりしないと賛成反対の返事はできない。</p> <p>○田園地帯で良い環境のなかに道路が通ることになるので、住み続ける人のことを十分考えて欲しい。</p> <p>○この道路を造ることにより地域に住んでいる方は恩恵を受けるので、建設の方針を早くはっきりさせてもらいたい。</p>